

キューバ共和国

主要データ

国名〔英名〕	キューバ共和国〔Republic of Cuba〕
面積(km ²)	110,860
海岸線延長(km)	3,735
人口(百万人)	11.1
人口密度(人/km ²)	100.1
GDP(百万US\$)	2011年データなし(参考:2008年 62,075百万US\$)
一人当りGDP(US\$)	2011年データなし(参考:2008年 5,596US\$)
主要鉱産物: 鉱石	ニッケル
主要鉱産物: 地金	ニッケル
鉱業管轄官庁	基礎産業省(Ministerio de la Industrias Basicos)
鉱業関連政府機関	国家鉱物資源事務所(Recursos Minerales de Republica de Cuba)
鉱業法	鉱山法(Ley No.76 de 1995; Ley de Minas) 広域調査、探査、探鉱の期限は各々1年、2年、1年。 採掘鉱区の期限は25年(25年の延長が可能)。
ロイヤルティ	鉱山法第75条~83条 金属については3~5%のコンセッション付与時点で決められた金額
外資法	外国投資法(Ley No.77 de 1995; Ley de Inversión Extranjera) 外資100%の参入が可能。
環境規制法 (環境影響調査制度、環境・排出基準の有無等)	環境法(Ley No.81 de 1997; Ley de Medio Ambiente) 環境影響評価の実施が義務付けられている。
鉱業公社	ニッケル公社(Union de Nickel)、地質鉱山公社(Union de Geominera)
鉱業活動中の民間企業	Sherritt International 社等
近年の鉱業関連問題 (資源ナショナリズム、労働争議、環境問題等)	米国による制裁措置(Helms Burton 法)。 深刻な電力不足。
2011年のトピックス	中国、ロシア等の企業の参入の動きが見られる。

1. 鉱業一般概況

キューバの主要金属鉱物資源は、ラテライト型鉱床中のコバルト及びニッケルで、それぞれ世界第3位、第5位の埋蔵量を有する。一方、コバルト及びニッケルの生産は、1959年のキューバ革命以降、東側諸国の技術・資本で開発・生産が開始され、その後カナダ企業により生産が行われたが、埋蔵量に比べて規模が小さく、2011年のコバルト鉱石生産量は World Metal Statistics Yearbook 2012(WMSY2012)の統計ではゼロ、ニッケル鉱石生産量は世界第8位、同地金生産量は世界第11位に留まっている。その他、わずかではあるが、鉄鉱石も生産されている(実際には、コバルトも多少は生産されており、ニッケルの生産量も WMSY2012 よりも多少は大きいものと思われる。これは、キューバ政府が米国に活動を妨害されるのを恐れているため、生産量、輸出入等の統計を公表して無く、国際的な統計が外資系企業の公表資料に情報源を頼っているためと思われる)。

キューバ政府は、1990年以降の東側経済圏の崩壊を機に、西側諸国資本によるニッケル鉱業の活性

化を図ることとし、1993年以降、外資への有望鉱区公開、外資導入促進等のための鉱業法改正、製錬所への外資導入・合併企業設立を行い、欧州・カナダ・豪州、中国、ロシア、ベネズエラ等の企業の参入の動きも見られるようになった。

ニッケル公社(Union de Nickel)100%子会社の Cubaniquel 社とカナダの Sherritt International Corp. の合併事業である Moa Bay 鉱山では、拡張プロジェクト(mix sulfide の生産能力を3段階で33,000t/年から49,000t/年に増強)を実施中である。2008年Q2にPhase I (4,000t/年の増産)が完了したが、ニッケル価格の低迷のため、Phase II (9,000t/年の増産)は2008年Q4から中断している。

キューバ政府は、原則として外国企業との合併事業により鉱業開発を進めようとしている。ニッケルについては Cubaniquel 社、それ以外の鉱物資源については Geominera 社といういずれもキューバ政府100%出資の国営企業が担当し、これらの企業又はその子会社と外国企業との合併事業を推進する政策を取っている。米国からの活動の妨害を恐れるためかキューバ政府のHP等による情報公開は不十分であるが、外国企業による投資を求めており、投資する意志のある外国企業に対しては必要な情報を提供している。

新たな外国企業の参入の動きとしては、ロシア Norilsk Nickel 社が2011年3月に発表した2025年までの企業発展展望の中でキューバに事務所を設置する可能性を検討している旨明らかにした他、2011年11月にもキューバのニッケルに関心を示している旨言及している。また、2011年10月 Geominera 社は中国系企業とのJVがほぼまとまった段階にある旨発言していた(5.探鉱状況③参照)。

2. 鉱業政策の主な動き

特になし

3. 主要鉱産物の生産・輸入・消費・輸出動向

(1) 主要金属鉱石生産量

表 1-1. 金属鉱石生産量

鉱種	2009年	2010年	2011年	対前年増減比(%)
ニッケル(千t)	95.0	65.4	66.0	0.9
鉄(千t)	267	290	未発表	—

(出典: World Metal Statistics Yearbook 2012、Steel Statistical Yearbook 2011)

(2) 主要金属地金生産量

表 1-2. 金属地金生産量

鉱種	2009年	2010年	2011年	対前年増減比(%)
ニッケル(千t)	31.4	31.4	31.4	0.0

(出典: World Metal Statistics Yearbook 2012)

(3) 主要金属消費量

データなし

(4) 主要金属輸出入

データなし

(5) 主要金属輸入量

データなし

① Castellanos 複雑鉱プロジェクト

埋蔵鉱量 12 百万 t(確定 5 百万 t 及び推定 7 百万 t)、平均品位 亜鉛 6.3%、鉛 3.1%、黄鉄鉱 17.6%、バライト 7.3%、銅 0.8~2.2%、金 0.8g/t、銀 43.5g/t と評価されている。2011 年 10 月の Geominera 社の説明によればオランダ及びアンゴラの企業と JV を実施中とのことである。

② Lomo Hierro 銀プロジェクト

推定埋蔵量 2.25 百万 t、平均品位 銀 152g/t と評価されている。加 Holmer Gold Mine Ltd. との間で JV を実施中である。

③ Mantua 金・銅プロジェクト

推定資源量 22.6 百万 t、銅の平均品位 1.0%と評価されている。2011 年 10 月の Geominera 社の説明によると加 Northern Orion Exploration 社が撤退し、中国系企業との JV がほぼまとまった段階にあるとのことであった。

その他、2011 年 10 月の Geominera 社の説明によると合弁相手が未だ決まっていない探鉱プロジェクトとして以下のようなものが存在している。

表 3. 探鉱プロジェクト

プロジェクト名	資源量等	備考
Júcaro	2.0 百万 t、銅 1.44%	西部、露天掘
Antonio	2.7 百万 t、銅 1.74%、亜鉛 3.8%	中央部、露天掘
Matahambre	0.6 百万 t、銅 3.0%	西部、坑内掘
Carlota Guachimango	5.0 百万 t、銅 0.81%、亜鉛+鉛 0.3%	中央部、露天掘
Infierno	7.45 百万 t、亜鉛 2.62%、鉛 0.76%	東部、露天掘
Mina Grande El Cobre	6.8 百万 t、銅 1.6%	東部、露天掘
Cierra Maestra	銅、モリブデン	東部

6. 我が国との関係

(1) 日本への輸出

キューバから日本へのニッケル製錬中間生産物の輸出は 2003 年から開始された。輸出量(額)は 2003 年 21t(2,000 万円)、2004 年 84t(1 億 600 万円)、2005 年 231t(3 億 3,300 万円)と順調に増加し、2005 年にはキューバの対日輸出額の約 10%を占めるまでになった。しかしながら、2006 年の輸出量(額)は 21t(2,600 万円)と大幅に減少し、更に 2007 年以降、輸出はゼロとなっている。この原因としては、米国による対キューバ経済制裁(ヘルムズ・バートン法)でキューバから輸入したニッケルを用いた製品の米国向け輸出が認められていないためと考えられる。

(2) 日本企業による投資状況等

特になし

7. その他トピックス

特になし

(2012. 7. 6 メキシコ事務所 高木博康)